

イタリア流 テリトリーオの底力

法政大学イノベーション・マネジメント研究センター 書籍30
イタリア流
テリトリーオの底力
デザイン・ファッション
から農業・食文化まで
発刊記念
国際シンポジウム

デザイン・ファッションから農業・食文化まで

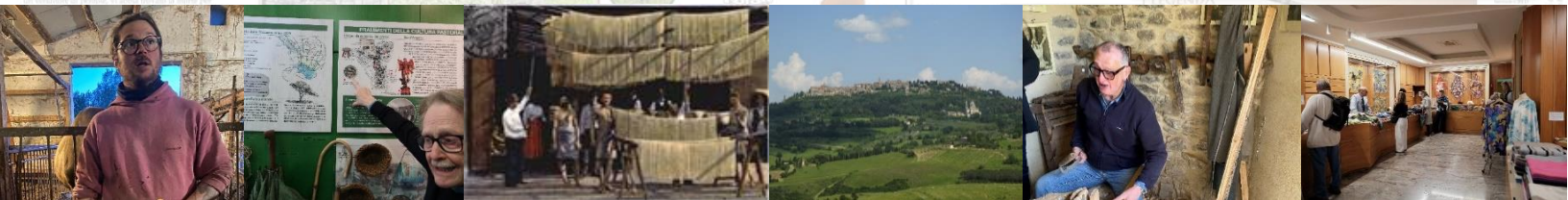
白桃書房から刊行された2冊の著作、『イタリアのテリトリーオ戦略 ―甦る都市と農村の交流―』(2022年)と『南イタリアの食とテリトリーオ ―農業が社会を変える―』(2024年)。本シンポジウムは、これらが提示した新たな地平をさらに多角的に掘り下げます。イタリアが50年間にわたり磨き上げた、都市と農村が響き合う「テリトリーオ」の叢智。繊維、農業、食品加工、デザインといった多様なセクターを取り上げ、産業集積や地域循環型フードシステムのダイナミズムを専門の枠を超えた独自の視点で解き明かします。イタリアの豊かな経験から紡ぎ出される知見で、日本各地で繰り広げられる地域づくりの活動にとって、新たな発想を得るための手がかりになることを目指します。

主催：法政大学イノベーション・マネジメント研究センター
協力：法政大学エコ地域デザイン研究センター

背景出所：Ecomuseo della Castagna in Raggiolo



イタリアがもつ奥深さを学び、
日本が直面する地方消滅危機を乗り越える。
産業集積、テリトリーオ、および地域循環型
フードシステムの重要性を訴え、現代社会に
おける価値観のパラダイム・シフトを促す。



13:00~13:05	開会挨拶
Part 1 産業集積という概念	
13:05~13:30	講演① 陣内秀信
13:30~13:45	講演② コッラード・モルテーニ
13:45~13:55	講演③ アンドレア・マレスコッティ
13:55~14:15	講演④ 安西洋之
Part 2 産業集積の事例	
14:25~14:50	講演⑤ 木村純子
14:50~15:15	講演⑥ 植田 暁
15:15~15:35	講演⑦ 樋渡 彩 田中碧衣
15:35~15:55	講演⑧ 須田文明
15:55~16:10	講演⑨ マルティナ・ルッソ
Part 3 トークセッション	
16:20~17:00	陣内秀信 コッラード・モルテーニ 植田 暁 須田文明 司会：木村純子

開催日時 2026年 5月30日(土)
13:00~17:00 (開場12:30)

会場 法政大学 市ヶ谷キャンパス
ボアソナード・タワー 26階
スカイホール
※開催方法は「対面」のみとなります

申込方法 下記専用サイトよりお申し込みください
<https://riim20260530.hosei-kyoiku.jp>

申込期限 2026年 5月27日(水)

定員
先着100名

参加費
無料



陣内 秀信 (じんない・ひでのぶ)

法政大学名誉教授

■同大学江戸東京研究センター特任教授。ヴェネツィア建築大学に留学，ユネスコのローマ・センターで研修。専門はイタリア建築史・都市史。受賞歴：サントリー学芸賞，地中海学会賞，ローマ大学名誉学士号，アマルフィ名誉市民，イタリア共和国功勳章コメンダトーレ章等。著書：『東京の空間人類学』（1985，筑摩書房），『ヴェネツィア：水上の迷宮都市』（1992，講談社），『トスカーナ・オルチャ渓谷のテリトリーオ：都市と田園の風景を読む』（2022，古小烏舎），『地中海都市の空間人類学』（2025，古小烏舎）他。

コッラード・モルテーニ (Corrado Molteni)

ミラノ大学教授

■イタリア・コモ市出身。1977年ボッコロニ大学経済学部卒業。1986年一橋大学地域社会研究科博士(日本研究)。1998年からミラノ大学教授。2007年から10年にわたり，駐日イタリア大使館参事官(文化担当)として日伊友好親善に寄与。2019年イタリア共和国功勳章コメンダトーレ受章。

アンドレア・マレスコッティ (Andrea Marescotti)

フィレンツェ大学経済経営学部准教授

■博士(農業経済学)。専門は地理的表示(GI)と農村振興。研究テーマは農業・食品企業のマーケティング戦略，企業間の調整メカニズム，地理的表示保護の効果分析と社会経済的評価，ショート・フードサプライチェーン，食とワイン，農村観光。100以上の論文と書籍を出版。国内外の公的機関向けにコンサルティング活動も行う。

安西 洋之 (あんざい・ひろゆき)

モバイルクルーズ株式会社代表取締役。De-Tales Ltd. ディレクター

■1990年よりイタリア在住。ミラノを拠点としたビジネス+文化のデザイナーとしてビジネス・デザイン・文化をメイン領域とする。専門はローカル，意味のイノベーション，新しいラグジュアリー。著書：『メイド・イン・イタリアはなぜ強いのか?：世界を魅了する〈意味〉の戦略的デザイン』（2020，晶文社），『新・ラグジュアリー：文化が生み出す経済10の講義』（2022，クロスメディア・パブリッシング）他。



木村 純子 (きむら・じゅんこ)

法政大学経営学部教授

■ヴェネツィア大学客員教授(2012~2014年)。専門はテリトリーオ，地理的表示(GI)保護制度，地域活性化。著書：木村純子・陣内秀信編著『イタリアのテリトリーオ戦略：甦る都市と農村の交流』（2022，白桃書房），木村純子・陣内秀信編著『南イタリアの食とテリトリーオ：農業が社会を変える』（2024，白桃書房），Vandecandelaere他編『Worldwide Perspectives on Geographical Indications』（2025，Springer），木村純子・前田浩史編著『一杯の牛乳がつなぐもの：学校給食から考える子どもと地域の未来』（近刊，女子栄養大学出版部）。



『南イタリアの食とテリトリーオ—農業が社会を変える—』（2024，白桃書房）

須田 文明 (すだ・ふみあき)

法政大学イノベーション・マネジメント研究センター客員研究員

■農学博士(東北大学)。1997~1999年，フランス政府給費留学生として国立農学研究所INRAにて研修。元農林水産政策研究所研究員。著書：『フランスチーズのテロワール戦略：風土に根づく新たな価値創出』（2023，水曜社）他。

マルティナ・ルツォ (Martina Russo)

建築家

■2024年法政大学客員研究員。東京のリバーシブル・デスティニー財団博士研究員として荒川・ギンズを研究。専門は建築空間と身体との関係，住宅空間の標準化，遊びを文化的形態とした空間を住まう方法。



『イタリアのテリトリーオ戦略—甦る都市と農村の交流—』（2022，白桃書房）

植田 暁 (うえだ・さとし)

NPO法人景観ネットワーク代表理事

■一級建築士事務所「風の記憶工場」主宰。北海学園大学客員研究員。イタリア政府奨学金留学生としてローマ大学に留学。専門は文化的景観および景観まちづくり，建築意匠。著書：『トスカーナ・オルチャ渓谷のテリトリーオ：都市と田園の風景を読む』（2022，古小烏舎，日本建築学会著作賞），論文に「イタリアにおける都市・地域研究の変遷史」『水都学Ⅲ：特集東京首都圏水のテリトリーオ』（2015，法政大学出版局），計画に『中標津町景観計画』他。

樋渡 彩 (ひわたし・あや)

近畿大学工学部建築学科講師

■イタリア政府奨学金留学生としてヴェネツィア建築大学に留学。日本学術振興会特別研究員を経て現在に至る。専門は都市史・地域史。受賞歴：前田工学賞，地中海学会ヘレンド賞，日本建築学会奨励賞，日本建築学会著作賞他。著書：『ヴェネツィアのテリトリーオ：水の都を支える流域の文化』（2016，鹿島出版会），『ヴェネツィアとラグーナ：水の都とテリトリーオの近代化』（2017，鹿島出版会）他。

田中 碧衣 (たなか・あおい)

studio36 一級建築士事務所

■修士(建築学)。受賞歴：日本建築学会優秀卒業論文賞，日本建築学会中国支部若手優秀発表賞，日本建築学会中国支部計画賞(修士論文賞)，SDレビュー2025入選他。論文：「パルミジャーノ・レッジャーノ産業で形成されるテリトリーオに関する考察」『日本建築学会中国支部研究報告集』（2025，共著，日本建築学会）他。